

令和7年度
瑞浪市教育委員会
点検評価報告書

(令和6年度事業)



令和7年7月
瑞浪市教育委員会

目 次



1 点検評価の概要		1
2 教育委員会の活動状況		2
3 第2期瑞浪市教育振興基本計画 みずなみ教育プランの概要		3
4 令和7年度(令和6年度事業)評価一覧		6
5 施策に対する事業評価		7
施策 1		7
施策 2		9
施策 3		11
施策 4		13
施策 5		14
施策 6		16
施策 7		18
6 教育委員会点検評価委員会のまとめ		20

1 点検評価の概要

【はじめに】

平成19年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務づけられました。

これは、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていく趣旨によるものです。

また、点検評価を行うに当たっては、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされており、点検・評価の客観性を確保することが求められています。

本市では、瑞浪市教育委員会点検評価委員会規則、瑞浪市教育委員会点検評価実施要領により、平成20年度より瑞浪市点検評価報告書を作成し報告しております。

【参 考】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○瑞浪市教育委員会点検評価実施要領(抜粋)

(評価事項)

第3条 教育委員会は、瑞浪市教育振興基本計画に掲げる施策の実施状況及びその成果について、点検評価を実施する。

2 前項の点検評価においては、次の表により達成度の総合評価を行う。

区分	達成度
A	順調に達成している
B	おおむね順調に達成している
C	達成に向けて課題がある
D	順調でない

(点検評価の手順)

第4条 点検評価を実施するに当たっては、事務局各課等がその所管する事業事務等について第一次評価を行う。

2 教育委員会は、第一次評価の結果を基に、評価委員会の意見を聴いたうえで最終評価を行う。

2 教育委員会の活動状況

教育委員会は、教育長と教育委員会委員の構成による合議制の執行機関です。教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて、教育長が事務局を統括して執行します。教育委員会は、会議を通じて意思決定をします。

令和6年度の活動状況

- (1) 教育委員会会議 定例会:12回 臨時会:1回 計 13回開催
議案等件数 議案:23件 承認案件:1件(可決、承認)
協議会:12回
- 総合教育会議 令和7年1月開催
【協議事項】
◇瑞浪市のコミュニティ・スクール、地域学校協働活動について
◇瑞浪市 GIGA 第1期(R2.2月～R7.3月)総括
◇瑞浪市の不登校の現状について
◇瑞浪市のいじめの現状について
- (3) 教育功労者表彰 令和6年11月開催
◇教育振興発展に貢献のあった教育関係2人、児童生徒4人・2団体、一般3人
- (4) 学校訪問 ◇小学校
教育長訪問7校、図書館審査1校、市指定発表2校
◇中学校
教育長訪問3校
◇幼稚園
教育長訪問8園

【教育委員会名簿】

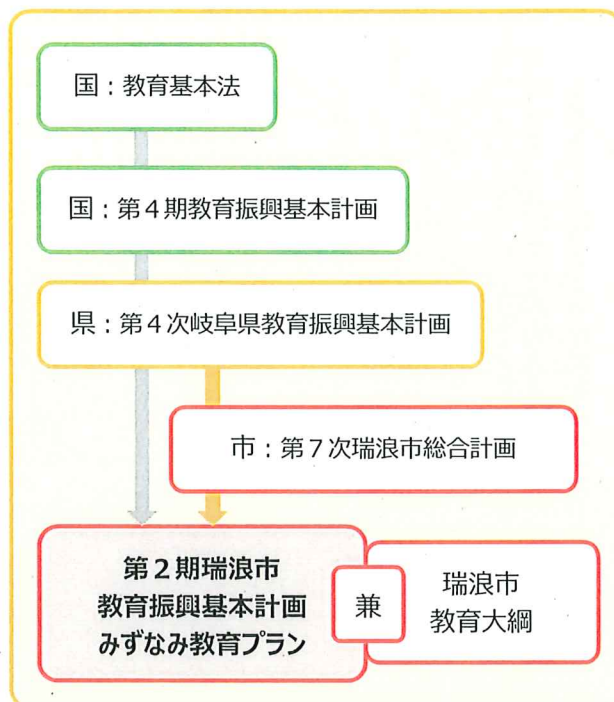
令和7年3月31日現在

職名	氏名	任期満了日	備考
教育長	いとう よしかず 伊藤 慶和	令和7年9月30日	
委員	かに けいた 可児 恵太	令和8年9月30日	教育長職務代理者
委員	はしば まこと 羽柴 誠	令和9年9月30日	
委員	しばた ようこ 柴田 洋子	令和10年9月30日	
委員	すずき けいこ 鈴木 圭子	令和7年9月30日	

3 第2期瑞浪市教育振興基本計画 みずなみ教育プランの概要

瑞浪市教育委員会では、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、本市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、令和6年度を初年度とする「第2期瑞浪市教育振興基本計画～みずなみ教育プラン～」を策定しています。この計画は、市の最上位計画である「第7次瑞浪市総合計画」(令和6年(2024年)3月策定)の教育分野の個別計画としての側面を持ちます。また、本市では、教育大綱を本計画の基本構想として位置付けています。

今後は、この計画に基づき、本市の目指す教育の実現に向けて取組を進めます。



計画の基本理念は、『夢と誇りを育む みずなみの教育』です。

基本理念の趣旨

次世代を担う子どもが、社会の変化に主体的にかかわり、夢に向かってたくましく生き、ふるさと瑞浪に誇りを感じることでできる教育を、学校や幼稚園・家庭・地域と連携して、令和6（2024）年度から令和10（2028）年度の5年間で推進します。

瑞浪の教育は

家庭や地域と連携・協働して、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付ける教育を推進します。

他者と協働して課題解決を図りながら、夢に向かって挑戦する子を育みます。

教育の様々な過程において、子どもたちに地域への愛着や誇りを育みます。

幼稚園・学校、家庭、地域の連携

教育を取り巻く変化に柔軟に対応



基本理念を達成するための**基本目標**

基本目標 たくましく生きる基礎を育てる学校教育・就学前教育の推進

・就学前教育の質の向上、そして児童生徒の学力や生きる力の向上に取り組むとともに、園・学校・家庭・地域が連携した教育を展開するなど、教育環境の充実を図ります。



具体的な**施策**

施策1 確かな学力の育成

- できる・わかる授業の充実
- キャリア教育の充実
- 就学前教育の指導・推進

施策2 豊かな心の育成

- 道徳教育の充実
- いじめへの対応と、人権教育の推進
- 「ぎふ いのちの教育」の推進
- 男女共同参画の推進

施策3 一人一人の実態に応じた指導・援助の充実

- 特別支援教育の充実
- 不登校児童生徒の社会的自立を目指した支援
- 教育相談体制の整備

施策4 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

- 情報通信機器の整備による情報教育の推進

施策5 健やかな体づくりと食育の推進

- 学校における体力づくりの充実
- 学校給食の安全供給と安心で美味しい給食の提供
- 学校・家庭の「食育」支援

施策6 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

- 幼小中の連携支援
- 家庭の学びの充実
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 学校における防災・防犯の推進

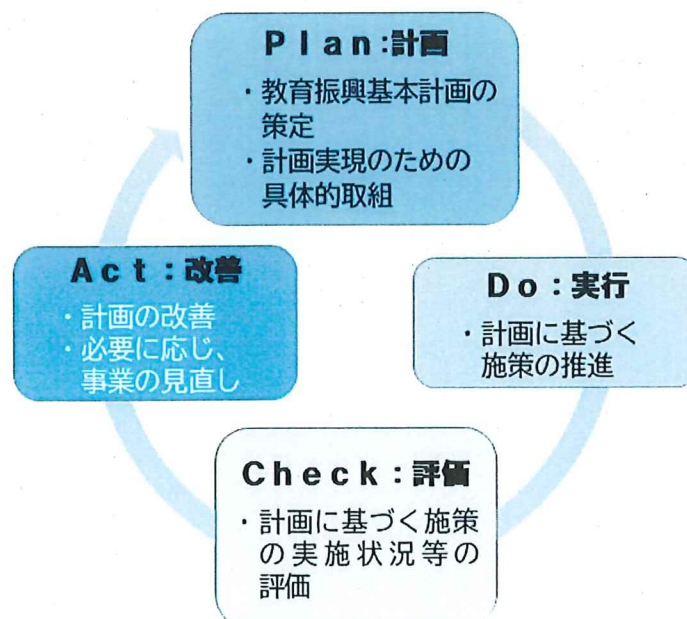
施策7 学校環境等の整備

- 老朽化した学校施設の改修
- 教育環境の整備・向上



計画の進行管理

計画の着実な推進のため、毎年、前年度の実施状況を取りまとめ、内部評価を行うとともに、教育委員会点検評価委員会による外部評価を実施します。教育委員会点検評価委員会による評価結果や課題等については、次年度の取組に反映する、PDCA（Plan：計画、Do：実行、Check：評価、Act：改善）サイクルにより計画の進行管理を行います。



4 令和7年度(令和6年度事業)評価一覧

基本目標 たくましく生きる基礎を育てる学校教育・就学前教育の推進			取組年度ごとの評価				
			R6	R7	R8	R9	R10
主な取組	施策1	①できる・わかる授業の充実 ②キャリア教育の充実 ③就学前教育の指導・推進	A				
	施策2	①道徳教育の充実 ②いじめへの対応と、人権教育の推進 ③「ぎふ いのちの教育」の推進 ④男女共同参画の推進	B				
	施策3	①特別支援教育の充実 ②不登校児童生徒の社会的自立を目指した支援 ③教育相談体制の整備	A				
	施策4	①情報通信機器の整備による情報教育の推進	A				
	施策5	①学校における体力づくりの充実 ②学校給食の安全供給と安心して美味しい給食の提供 ③学校・家庭の「食育」支援	A				
	施策6	①幼小中の連携支援 ②家庭の学びの充実 ③コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 ④学校における防災・防犯の推進	A				
	施策7	①老朽化した学校施設の改修 ②教育環境の整備・向上	A				

評価区分		評価状況
A	順調に達成している	6
B	おおむね順調に達成している	1
C	達成に向けて課題がある	0
D	順調でない	0
計		7

5 施策に対する事業評価

施 策	1	確かな学力の育成					
取 組	①	できる・わかる授業の充実				学校教育課	
	②	キャリア教育の充実				学校教育課	
	③	就学前教育の指導・推進				学校教育課	
◇令和6年度の取組							
①	各種学力調査の分析により児童生徒の実態を的確に把握し、定着が不十分な学習領域等について授業改善・検証を重ね、学習内容の確かな定着や、教科を学ぶ楽しさを感じて主体的に学ぶ態度の育成に努めました。						
②	地域や学校、児童生徒の負担とならないよう配慮しながら、地域の特色を生かした体験活動の推進を図りました。						
③	幼小連携会議や、園と学校の合同研修会を実施し、架け橋プログラムの充実を図りました。						
◇成果指標							
①	「学校の授業は分かる」と答えた児童生徒の割合（市学習状況調査）						
	計画策定時 （令和4年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和10年度）
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	86.6%	88.7%	%	%	%	%	90.0%
		98.6%	%	%	%	%	
②	自然、生活、社会体験の実施回数						
	計画策定時 （令和4年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和10年度）
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	26回	35回	回	回	回	回	30回
		116.7%	%	%	%	%	
③	接続を見通した教育課程の実施結果を踏まえて、接続期カリキュラム（アプローチカリキュラム、スタートカリキュラム）を、よりよいものとなるよう検討をしている園・小学校の割合						
	計画策定時 （令和4年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和10年度）
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	53%	100%	%	%	%	%	100.0%
		100%	%	%	%	%	
◇成果と課題							
①児童生徒の実態を把握して授業改善したことにより、「学校の授業は分かりますか」の質問に肯定的な回答をする児童生徒が増えました。小学校算数、中学校国語・数学において、「教科の勉強が好きか」の質問に肯定的な回答が増えました。							
②地域の特色や、地域人材を活用して体験学習を充実させることができました。地域や学校、児童生徒の負担を考え、持続可能な取組となるよう、活動内容等を引き続き精選していく必要があります。							
③幼小連携会議を各小学校区において年間3回実施しました。幼稚園と小学校の教職員が合同で行う研修や、それぞれの教育を参観し合う機会を充実させることができました。							

◇点検評価委員会の意見と教育委員会の対応 ・できる・わかる授業の成果と課題で「学校の授業は分かりますか。」の質問に、1週間ごとや学期ごとに実態把握はしていますか。分かることと分かった気になっていることは違うということ意識していくことが大切だと思います。 →学校では、年2～3回の間で、教育相談を行っています。また、随時子どもが困ったことがあったら質問できるよう進めています。市では、学校の実態の把握に努めながら共に進めていきます。 ・幼小の連携について、成果指標から連携が充実していると感じます。今後はどのような連携が効果的かということも検討しながら進めるといいと思います。 →今年は幼小の持続可能な連携を模索しています。今後は、今年の実践を踏まえ、効果的な連携を進めます。		評価	A
◇次年度の取組方針			
①	引き続き、各種学力調査の分析による児童生徒の実態の的確な把握、定着が不十分な学習領域等における授業改善・検証を重ね、学習内容の確かな定着や、教科を学ぶ楽しさを感じて主体的に学ぶ態度の育成に努めます。		
②	児童生徒が豊かな体験の機会を得られるよう、家庭や地域と連携して取組内容や方法を精選していきます。		
③	幼保小の連携、協働による「つなぐ・高める・支える」架け橋プログラムの充実を図ります。		

◇主な事業費（令和6年度決算額）	
・QUアンケート事業	96 千円
・教員研修経費	153 千円
・小学校課題指定校経費	242 千円
・中学校課題指定校経費	249 千円

施 策	2	豊かな心の育成					
取 組	①	道徳教育の充実				学校教育課	
	②	いじめへの対応と、人権教育の推進				学校教育課	
	③	「ぎふ、いのちの教育」の推進				学校教育課	
	④	男女共同参画の推進				学校教育課	
◇令和 6 年度の取組							
①	自分の生き方について、主体的に考える授業づくりを推進するとともに、自分事として考えることで内面を育てる道徳教育を推進しました。						
②	いじめ問題に対し、未然防止、早期発見・早期対応に努めるとともに、全教育活動を通して自他を思いやる心を育てました。						
③	「ＳＯＳの出し方教育」や「ゲートキーパー養成講話」などを通じて、自他の命を大切にする心を育みました。						
④	「特別の教科 道徳」の授業を中心に、児童生徒が違いを認め合い、互いを大切な存在として尊重し合う心を育む教育を推進しました。						
◇成果指標							
①	「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の割合（市学習状況調査）						
	計画策定時 （令和 4 年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和 10 年度）
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
		84.2%	90.5%	%	%	%	
		100.1%	%	%	%		
②	いじめは、「どんな理由があってもいけない」と考える児童生徒の割合（全国学力学習状況調査）						
	計画策定時 （令和 4 年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和 10 年度）
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
		98.0%	98.3%	%	%	%	
		98.3%	%	%	%		
③	自殺予防教育（ＳＯＳの出し方教育・性被害から守る教育）を行った学級の割合						
	計画策定時 （令和 4 年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和 10 年度）
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
		90.0%	90.0%	%	%	%	
		90.0%	%	%	%		
④	「道徳」「学活」「総合」「保健」の授業で男女共同参画の学習を行った学級の割合						
	計画策定時 （令和 4 年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和 10 年度）
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
		-	87.5%	%	%	%	
		87.5%	%	%	%		

◇成果と課題

- ①令和6年度道徳教育計画訪問の地区（瑞浪南中学校区）が中心となり、道徳の授業づくり等の財産を市内に広めてきました。今後は、授業を中心にして学校教育全体の道徳教育の充実を図る必要があります。
- ②いじめの未然防止、早期発見・早期対応を軸としながら取り組むことができました。今後は、「いじめ重大事態の改訂に関するガイドライン チェックリスト」を活用し、未然防止等の対応を図っていく必要があります。
- ③授業や講話を通して自他の命を大切にする心を育むことができました。今後は、職員研修も充実することで、継続的に啓発を図っていく必要があります。
- ④学活や総合的な学習でのキャリア教育だけでなく、「道徳」の授業で多様な考え方を認め合うことや、「保健」の授業における性教育等も通して、違いを認め合い、互いを尊重する心を育む教育を推進しました。

◇点検評価委員会の意見と教育委員会の対応

- ・「自分にはよいところがある」について 90.5%は素晴らしい。一方、「いじめはどんな理由があってもいけない」と考える子どもを100%にしたいところですが、あと1.7%がそう思っていないところは残念です。さらに指導をしてほしいです。
- 引き続き、一人一人のよさを認め伸ばす指導を充実させます。また、いじめの未然防止教育についてさらに力を入れる中で100%を目指していきます。
- ・SOSの出し方については、教師を含め周りの大人たちの受け止め方、感度の高さが重要です。SOSを引き出すため、カウンセリングマインドで話を聞く研修を実際に受けた方はいますか。また、それは職員研修に位置付けられていますか。
- 夏の研修での実施を予定しているなど、今後の研修に入れていきます。長けた先生もみえるので、市全体に広めるよう努力していきます。
- ・「道徳」「学活」「保健」の授業で男女共同参画の学習について、100%になっていないことが残念であり、男女共同参画の意識を高めていく必要があると思います。
- 今後、各学校において、体育の男女共修や道徳の価値項目で進めていることの価値付けや意義を周知していきます。

評価

B

◇次年度の方針

- | | |
|---|---|
| ① | 令和6年度までの授業づくりの財産をもとに、授業を中心に、学校における道徳教育の充実を図ります。 |
| ② | 「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」チェックシートを活用し、いじめの未然防止について全小中学校が取り組んでいきます。 |
| ③ | 「SOSの出し方教育」、「ゲートキーパー養成講話」に加え、職員研修を通じて自他の命を大切にする心を育んでいきます。 |
| ④ | 学校における全教育活動を通して、違いを認め合い、互いを尊重する心を育む教育を継続します。 |

◇主な事業費（令和6年度決算額）

- | | |
|---------------------------|-------|
| ・瑞浪市いじめ問題調査委員（SC）の報酬 | 20 千円 |
| ・「いじめ110番ダイヤルカード」の配布（3年分） | 53 千円 |

施 策	3	一人一人の実態に応じた指導・援助の充実					
取 組	①	特別支援教育の充実				学校教育課	
	②	不登校児童生徒の社会的自立を目指した支援				学校教育課	
	③	教育相談体制の整備				学校教育課	
◇令和 6 年度の取組							
①	特別支援学級への指導とともに、市費学業支援員 29 名を配置し、通常学級に在籍し、支援を必要とする児童生徒への支援を充実させてきました。						
②	校内教育支援センターを全中学校に設置、市費、会計年度の指導員を配置しました。						
③	共感的理解の下、児童生徒に対して、一人一人のよさを伸ばす指導をしてきました。						
◇成果指標							
①	通常の学級に在籍する特別の教育的支援が必要な児童生徒の個別的教育支援計画作成率						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値（下段：達成度）					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
		48.6%	55.6%	%	%	%	
		79.4%	%	%	%	%	
②	校内支援センターの整備率						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値（下段：達成度）					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
		30.0%	30.0%	%	%	%	
		37.5%	%	%	%	%	
③	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる児童生徒の割合 (全国学力学習状況調査)						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値（下段：達成度）					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
		70.3%	76.5%	%	%	%	
		95.6%	%	%	%	%	
◇成果と課題							
①市費学業支援員が担任や授業者と連携し、通常学級に在籍し支援を必要とする児童生徒への支援をしてきました。学校のニーズに対する学業支援員数の不足が課題となっています。							
②こぶし教室と校内教育支援センターが連携し、不登校傾向を示す児童生徒の居場所づくりができました。校内教育支援センターを小学校にも広げ、支援を充実させる必要があります。							
③一人一人のよさを伸ばす発達支持的生徒指導を充実させてきました。今後は、研修等を通して教職員の資質向上を図りながら、一人一人に合った指導・支援を目指していく必要があります。							
◇点検評価委員会の意見と教育委員会の対応							
・個々に合わせた対応ができるよう、更に支援体制を充実してほしいです。 →校外教育支援センターこぶし教室に加え、学校内に整備した教室で、教室には入れないが学校には行けるとい子が自分のペースで学習等を進めていけるようにしています。令和 7 年度は、これまでの全中学校に加え、小学校 2 校にも指導員を配置するなど、今後も市内の校内教育支援センターを整備し、支援体制を充実していきます。						評価	
・個々に不登校の理由があり、難しい問題です。家庭との連携も含めた指導をお願いします。							
→コロナ禍以降、増加傾向が続いていますが、現在、完全な引きこもりという子はいません。教育支援センターの相談機能を活用しながら、学校と家庭が連携し、不登校支援を行ってきています。							
						A	

◇次年度の取組方針

- | | |
|---|--|
| ① | 担任や授業者と学業支援員とが連携し、指導・支援の内容を充実させていきます。 |
| ② | 校内教育支援センター指導員を全中学校3名に加え、小学校にも2名配置します。児童生徒の居場所づくりを充実させていきます。 |
| ③ | 職員研修を充実させ、職員の指導力向上を目指します。併せて、教育相談体制を整備し、児童生徒がいつでも相談できる体制を整備していきます。 |

◇主な事業費（令和6年度決算額）

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| ・児童生徒学業支援員派遣事業 | 35,399 千円 |
| （学業支援員 31 名の報酬等） | |
| ・教育支援センター運営経費 | 13,204 千円 |
| （こぶし教室指導員報酬、校内教育支援センター指導員報酬等） | |



校内教育支援センター

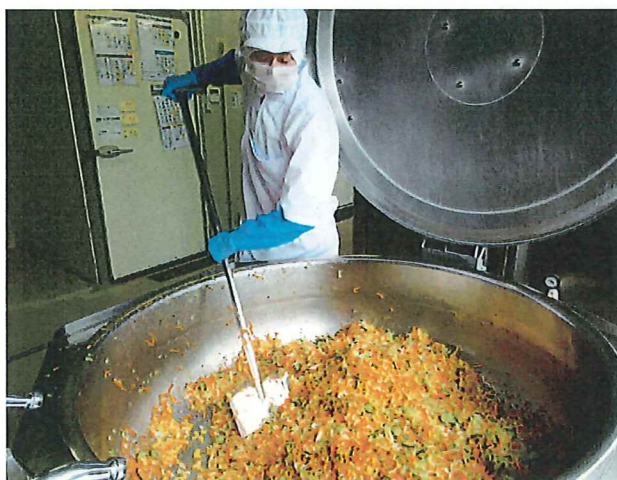
施 策	4	教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進					
取 組	①	情報通信機器の整備による情報教育の推進				学校教育課	
◇令和6年度の取組							
①	ICTを効果的に活用し、授業や学校生活におけるアナログ（従来の指導方法）とデジタルのベストミックスを目指しました。						
◇成果指標							
①	「学校でタブレットを使って学習していますか」という質問に、「毎日使っている」「だいたい使っている」と答える児童生徒の割合（市学習状況調査）						
	計画策定時 （令和5年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和10年度）
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
	84.0%	84.2%	%	%	%	%	95.0%
		88.6%	%	%	%	%	
◇成果と課題							
・ICTを便利な文房具として利用するとともに、「ICTの活用が真に効果的か」の視点で授業での活用について見直しました。将来、児童生徒が社会に出てICTを活用することを見据え、デジタルシティズンシップ教育の視点も加えて指導していく必要があります。							
◇点検評価委員会の意見と教育委員会の対応						評価	A
・タブレットを使うことが目的ではなく、効果的に使いこなしていけるよう、実践的な事業研究などをしてほしいです。 →ICTの効果的な活用として、子どもが見たい資料や話したいことを視覚的に伝えるなど、今後も教育の推進に努めます。							
◇次年度の取組方針							
①	授業等においてICTの強みを生かした活用を進めるとともに、児童生徒が自分で判断し、ICTを正しく利活用する力を育む指導を推進します。						

◇主な事業費（令和6年度決算額）
・ICT活用経費 1,025 千円・

施 策	5	健やかな体づくりと食育の推進					
取 組	①	学校における体力づくりの充実				学校教育課	
	②	学校給食の安全供給と安心して美味しい給食の提供				学校給食センター	
	③	学校・家庭の「食育」支援				学校教育課 学校給食センター	
◇令和 6 年度の取組							
①	保健統計、運動能力・体力について分析を進め、改善方途を市内小中学校で共有しました。小学生の運動機会の確保に努めました。						
②	調理業務、配送業務それぞれについて専門スキルの高い事業者に委託することによって学校給食の安定供給に努めました。						
③	栄養教諭を中心に、給食時間や学級活動の時間を活用した食育を推進しました。 毎月全ての児童生徒に配布する「食育だより」において、食に関する情報や人気の給食レシピを掲載するとともに、Instagramに毎日の給食写真を公開する他、必要に応じて情報提供を行い、家庭での食育推進に努めました。						
◇成果指標							
①	新体力テストの県平均を上回る種目率						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値 (下段：達成度)					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
	51.8%	58.9%	%	%	%	%	55.0%
		107.1%	%	%	%	%	
②	給食食材における県内産（市内産を含む）農畜産物の使用割合						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値 (下段：達成度)					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
	18.0%	20.74%	%	%	%	%	20.0%
		103.7%	%	%	%	%	
③	「朝食を毎日食べていますか」という質問に、「いつも食べている」「だいたい食べている」と答える児童生徒の割合（市学習状況調査）						
	計画策定時 (令和 4 年度)	実績値 (下段：達成度)					目標値 (令和 10 年度)
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
	94.9%	96.2%	%	%	%	%	98.0%
		98.2%	%	%	%	%	
◇成果と課題							
①保健統計、運動能力・体力について「みずなみの子ども」に分析と改善方途をまとめ、市内の教職員で共有しました。小学校において「チャレンジスポーツ in ぎふ」への取組の奨励や、明世小学校で取り組んだACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）の様子をICM通信で紹介することにより、運動機会の充実を図りました。コロナ禍で心配された小学生の体力低下について、昨年度に引き続き改善傾向が見られました。							
②施設、設備の老朽化に伴う修繕や大規模な改修が必要となっていますが、費用面が課題となっています。							
③栄養教諭が計画的に各校を訪問して食育指導をしたり、各校の計画に沿って担任と栄養教諭のTTによる食育授業を行ったりしました。 食育だよりや給食時の放送等で朝食の重要性について伝えてきました。今後も学校給食を通して家庭における食育を推進する必要があります。							

◇点検評価委員会の意見と教育委員会の対応 ・家庭できちんと食育が出来ない中、学校給食の役割を果たすのは重要だと思います。施設修繕にもお金をかかり、食材の値段も上がる中、あの値段でおいしい給食を提供していくのは大変だと思います。 →今年度の学校給食センター運営委員会で、給食費の値上げについて検討する予定です。		評価	A
◇次年度の取組方針			
①	保健統計、運動能力・体力について「みずなみの子ども」に分析と改善方途をまとめ、市内の教職員に広めます。小学生の運動機会の充実に向けた取組を継続します。		
②	設備等の定期的な保守点検を行い、修繕が必要な個所を早期に把握・対応するとともに、大規模な改修・更新については計画的に対応を行います。		
③	栄養教諭を中心とした食育の充実を図ります。家庭での食育の推進を図ります。		

◇主な事業費（令和6年度決算額）	
・部活動育成諸経費 （東海大会 個人3千円、団体20千円）	102千円
・学校給食センター調理室系統空調機器改修工事	59,400千円
・学校給食センター外壁防水等改修工事	107,580千円



学校給食調理



学校給食センター外壁防水等改修工事

施 策	6	学校・家庭・地域の連携・協働の推進					
取 組	①	幼小中の連携支援				学校教育課	
	②	家庭の学びの充実				学校教育課	
	③	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進				学校教育課	
	④	学校における防災・防犯の推進				学校教育課	
◇令和6年度の取組							
①	特別支援教育に関する3講座（「日ごろのお悩み解決」「きこえと言葉」「地域手話講座」）を開設しました。						
②	PTA や学校運営協議会を活用し、保護者への家庭教育に関わる学習機会を工夫しました。各学校でPTA を中心に保護者が参加する企画を実施しています。						
③	市内すべての公立小中学校がコミュニティ・スクールとなったことを受け、それぞれの地域の特色を生かした活動のよさや課題について情報を共有するとともに、県主催の研修会等を周知して参加を呼び掛け、よりよいコミュニティ・スクールの在り方について学ぶことができるようにしました。						
④	大雨や地震、火災等の災害を想定した訓練を複数回実施し、避難の仕方を覚えるとともに「自分の命は自分で守る」意識を育ててきました。						
◇成果指標							
①	幼小中共通の教育課題に関する研修の実施						
	計画策定時 (令和4年度)	実績値（下段：達成度）					目標値 (令和10年度)
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
		2 講座	3 講座	講座	講座	講座	
	100.0%	%	%	%	%		
②	「学校での出来事や趣味、友達のことなど家族と一緒に話をすることはありますか」という質問に、「よくある」「ときどきある」と答える児童生徒の割合（市学習状況調査）						
	計画策定時 (令和5年度)	実績値（下段：達成度）					目標値 (令和10年度)
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
		92.7%	90.8%	%	%	%	
	95.6%	%	%	%	%		
③	「自分たちの住む地域のよさを、より理解することができた」と感じる児童生徒の割合（各校の児童生徒アンケート）						
	計画策定時 (令和4年度)	実績値（下段：達成度）					目標値 (令和10年度)
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
		80.8%	90.1%	%	%	%	
	100.1%	%	%	%	%		
④	年3回以上の防災訓練（内、1回は不審者対応）を実施している学校の割合						
	計画策定時 (令和4年度)	実績値（下段：達成度）					目標値 (令和10年度)
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
		80.0%	80.0%	%	%	%	
	80.0%	%	%	%	%		

◇成果と課題		
①東濃教育事務所特別支援教育担当指導主事の招聘、岐阜聾学校の巡回講座の活用により、専門的な知識を得ることができました。		
②各校で工夫しながら、家庭教育学級を進めています。こうした取組を通して、家庭の教育力を高めるとともに、保護者同士のつながりを生むことも重要です。また、効果的な研修の持ち方について、実際に運営する役員の方が悩んでいる現状がみられます。		
③学校運営協議会が独自に講師を招いて勉強会を行ったり、他地区の取組を踏まえて見直しの検討を行ったりする動きが見られました。一方で、保護者世代を含めより多くの地域の方に、コミュニティ・スクールとその活動について周知を図り、理解を広げることが必要です。		
④年間複数回の訓練を実施し、自分事として捉え、取り組む姿勢を身に付けさせてきました。今後は、様々な場面、様々な危険を想定し、対応できるようにしていく必要があります。		
◇点検評価委員会の意見と教育委員会の対応		
・コミュニティ・スクールがまだ浸透していないので、広報活動を進めていくとよいと思います。		
→各校区でのコミュニティ・スクールとその活動について、学校報や「広報みずなみ」を通して、市民に広く周知を図っていきます。		
・実質的な訓練を考えた方がいいと思います。		
→実際の場면을想定して様々な訓練を実施する中で、子どもたち一人一人に「自分の命は自分で守る」意識をもたせていきます。		
		評価
		A
◇次年度の取組方針		
①	こども園、小中学校のニーズをもとに、今日的な教育課題について学ぶことで、保幼小中を見通した教育の充実を目指します。(R7開設予定の共通講座は、特別支援、性教育)	
②	PTA や学校運営協議会を活用し、保護者への家庭教育に関する学習機会を確保するとともに、市内の家庭教育学級の様子等について、情報共有を進めます。	
③	コミュニティ・スクールの活動支援を関係各課と連携し、検討します。 各地区の活動やそのよさについて積極的に情報を提供することを通して、それぞれの学校の活動が充実するよう働きかけるとともに、市民への理解を広めていきます。	
④	災害の種類、起こる場面、時間帯等、あらゆる場면을想定しながら訓練を重ねる中で、児童生徒が自ら自他の命を守る主体性を育んでいきます。	

◇主な事業費（令和6年度決算額）	
・コミュニティ・スクール推進事業	2,059 千円

施 策	7	学校環境等の整備					
取 組	①	老朽化した学校施設の改修				教育総務課	
	②	教育環境の整備・向上				教育総務課	
◇令和 6 年度の取組							
①	瑞浪中学校校舎等改修（実施設計）						
②	トイレ改修工事（瑞浪小学校、瑞浪中学校、瑞浪南中学校）						
◇成果指標							
①	校舎の大規模改造工事に着手した学校数						
	計画策定時 （令和 4 年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和 10 年度）
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
	6 校/10 校	6 校/10 校 60.0%	校/10 校 %	校/10 校 %	校/10 校 %	校/10 校 %	9 校/10 校
②	トイレ改修工事(洋式・乾式化)進捗率						
	計画策定時 （令和 4 年度）	実績値（下段：達成度）					目標値 （令和 10 年度）
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	
	6 校/9 校	9 校/9 校 100.0%	校/9 校 %	校/9 校 %	校/9 校 %	校/9 校 %	9 校/9 校
◇成果と課題							
①瑞浪中学校の改修工事に向けて実施設計が完了しました。令和 8 年度予定の工事に向け入念に準備をします。土岐小学校校舎外壁等防水改修工事(第 1 期工事)に令和 6 年度中に着手しました。（第 1 期工事完了は令和 7 年度予定）							
②瑞浪小学校、瑞浪中学校及び瑞浪南中学校のトイレ改修工事が完了し、すべての学校のトイレ洋式化・乾式化及び多目的トイレの整備が完了しました。また、瑞浪小学校及び瑞浪南中学校は体育館に多目的トイレを整備しました。 環境配慮手法の仕組みの導入については、瑞浪中学校について検討しましたが主だった仕組みの導入は困難でした。							
◇点検評価委員会の意見と教育委員会の対応						評価	A
・トイレの洋式化・乾式化の工事が完了し、より衛生的で使いやすくなりました。 ・照明をLED化することで、点滅がなくなり明るく快適な環境で授業が受けられるようになると思います。教育環境を整えることはとても大事です。良い環境で学べるように着々と進んでいていいと思います。 →LEDになっていない学校については、計画的にLED化を進めていきます。							
◇次年度の取組方針							
①	瑞浪中学校校舎等改修工事の第 1 期に向けて国庫補助金の申請等の準備をします。土岐小学校校舎外壁等防水改修工事(第 2 期工事)において、照明を LED 化します。						
②	バリアフリー化については、瑞浪中学校において令和 8 年度以降の校舎等改修工事に併せて校舎、体育館玄関廻りの段差解消整備をします。また、瑞浪中学校体育館の多目的トイレについてもこのバリアフリー化に併せて整備します。 環境配慮手法の仕組みの導入については、引き続き瑞浪小学校の校舎等改修工事に併せて検討します。						

◇主な事業費（令和6年度決算額）

- ・瑞浪小学校改修事業 56,900 千円
- ・瑞浪中学校改修事業 169,721 千円
（改修工事実施設計委託料 15,400 千円、テニスコート改修工事 32,085 千円、
トイレ改修工事 122,236 千円）
- ・瑞浪南中学校改修事業 52,999 千円



瑞浪中学校トイレ

6 教育委員会点検評価委員会のまとめ

令和7年5月19日と7月4日の計2回にわたり点検評価委員会を開催し、「第2期瑞浪市教育振興計画 みずなみ教育プラン」の令和6年度の取組について、担当課から説明を受けた後、委員はそれぞれの立場から活発に質疑や意見を交わし、評価を行いました。同時に委員にとっても、これまで知ることの少なかった教育委員会の事業について、理解を深める良い機会となりました。

子ども一人一人を大切に、夢と誇りを育む教育は、おおむね順調に進んでいると思います。これまでPDCAサイクルで継続的に計画の進行管理をし、精度を高めながら点検評価を進めてきた成果であります。一貫性のある教育を推進するために、成果と課題を明確にして、更に改善を図っていくことの重要性を改めて感じました。

同時に、目まぐるしく変化する社会に柔軟に対応しながら、悲しい思いをする子どもを一人も出さない人権教育や一人一人に寄り添う教育を、更に大切に取り組んでいただきたいと思います。

【瑞浪市教育委員会点検評価委員】 任期は令和7年5月19日から当該年度の審議が終了するまで

役職名	氏名(敬称略)	略歴等
委員長	西尾正代	元瑞浪市小学校長
職務代理者	小木曾誠	元瑞浪市小学校長
委員	浅沼克郎	瑞浪市社会教育委員
委員	曾我順一	瑞浪小中学校運営協議会委員
委員	伊藤智	瑞浪市PTA連合会子育て委員長

【点検評価委員会開催状況】

回	開催日	会場
第1回	令和7年5月19日(月)	市役所 4階 全員協議会室
第2回	令和7年7月 4日(金)	市役所 4階 全員協議会室

